

# FC GIUSTI SPECIAL TALK

～FORZA200号特別企画・FCジュスティー特別対談～



『FORZA 駒澤』の定番企画として毎回最終ページを彩っている選手紹介。200号を迎えた今年度においても、4年生の輪は順調に繋がり、おかげさまで終盤に差し掛かっています。

そんな今年の4年生の中で、少年時代FC GIUSTIというチームでボールを追い、高校では別の道に進みながらも駒大で再び出会い、プレーすることになった4人の幼なじみの存在が浮かび上がりました。上畑正博コーチが創設したというジュスティーでの思い出話から、いよいよ最後を迎える大学サッカーへの思いまで、お互いをよく知る4選手に語っていただきました！



思い出写真館

榊原—これが昔の俺です。  
全員—嘘つけ！（笑）  
藤井—これが上畑さんですよ。まあ外人と思っただけならば（笑）  
榊原—この外人も載せてください（笑）  
安田—すげえよなホント…  
藤井—キリストみたい（笑）

—まず、4人がジュスティーで出会った経緯を教えてください。

榊原—俺たちが小2のとき、上畑さんがチームを作ったんですよ。最初に入ったのはタカ（藤井）かな？

藤井—まず自分ですね。自分がこーちゃん（榊原）誘って、次にあーちゃん（安田）が入ってきたんだよね。

安田—そうそう。

榊原—砧公園の、汽車ぼっほ公園の目の前の土のグラウンドでやってたんですよ。人数全然少なくて、たまたまあーちゃんが遊びに来たんだよね？

安田—そう。そこでサッカー一緒にやるようになって誘われて、「毎週何曜日にやってくるから来ない？」って言われて。小学校のチームに入ってたんだけど、内緒で参加して…最終的にどっちにするんだって言われてジュスティーを選びました。

加藤—俺は中学からだな。

榊原—カトペン（加藤）は城山小でやって、まあ俺も4年まで掛け持ちでそこ入ってたんですけど。そこでカトペンと仲良くなって、中学上がるときにジュスティーに誘ったんだよね。

—上畑さんの印象はどうでしたか？

安田—怖かった！

藤井—大学来て優しくなったよな。

安田—小学校のときとか一緒にミニゲームやって、上畑さんのチーム負けるとすっごいキレるんですよ。小学4、5年相手に（笑）。あと走ったね、

—続いて、安田さんはどうでしたか？

榊原—俺、中学のときキャプテンだったんですよ。まあ頼りがいのあるキャプテンだったよな。完璧だったな…。

安田—なんかやってくれるってのはあったな、攻撃の面。ボール持ったら強い。攻撃の中心。

—当時のお互いのプレースタイルはどうでしたか？まず榊原さんは？

榊原—まあ一言で言うよ…

全員—自分で言うのかよ（笑）

藤井—守備を全然しない！

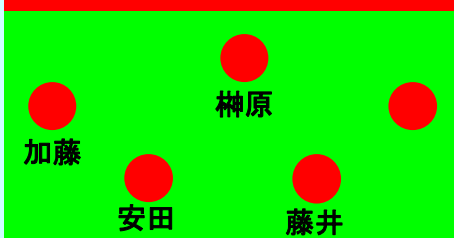
榊原—守備しかしてなかったらだろ…。

安田—シュートは強い！体も強かったね。あとキャプテン！

榊原—俺、中学のときキャプテンだったんですよ。まあ頼りがいのあるキャプテンだったよな。完璧だったな…。

安田—なんかやってくれるってのはあったな、攻撃の面。ボール持ったら強い。攻撃の中心。

## FC GIUSTI 「駒大」の中盤



—チームの強さはどんな感じでしたか？

榊原—小学の時世田谷区で優勝して泣いた。

藤井—世田谷ではまあまあ。都内では全然。

榊原—中学の時は都の新人戦でベスト8。それが最高かな？



GIUSTI と言えばコレでしょ！という「チャリ」をバックに、対談は11月28日に行われました。特に藤井選手と加藤選手はIリーグ全国大会を控えた中、貴重なお時間を割いていただきました。4選手とも本当にありがとうございました！

榊原—うーん、なんかやってくれて言うのが（笑）

藤井—みんなそれじゃん！（笑）

榊原—あーちゃんはダブルタッチがうまかったな。乗っちゃうとガンガン行っちゃうんですよ。

安田—ポランチの位置からね（笑）。守備しなかったね。

—加藤さんは？

藤井—ドリブルだね。

安田—左足だね。

榊原—パス出すなって言われてた。

榊原—パスセンスが全然ないんだもん。愛情がないっていうか、感情がないっていうか（笑）。

—藤井さんは？

榊原—もう、イカれてました（笑）。

安田—でも10番だもんね。タカはキックじゃない？

藤井—キックだね。ずっと練習してたもん。

榊原—ベロン好きだったもんね。

—高校では別々の進路に進まれますが、話し合ったりなどはしましたか？

藤井—最初、こーちゃんも青森山田行きたかったんだよね？それで俺も行きたくて、カトペンも行きたくて。あと塩田ってやつも山田行きたかった。その4人で話はしてたけど、枠が2つしかなくて。最初にこーちゃんの親が遠いからダメってなって。